

## 愛知の教育に関する大綱（2021年度～2025年度） &lt;素案&gt;

## 策定の趣旨

- 地方公共団体における教育行政については、地方公共団体の長が責任を持ち、大きな目標や方針を提示する必要があります。  
その上で、教育委員会がより専門的な観点から教育行政を行い、地方公共団体の長と教育委員会が役割分担をしながら、地域の実情に応じた教育の振興を図っていくことが必要です。
- これを踏まえ、愛知県では、2016年2月に、教育に関する目標や施策の根本となる方針として、「愛知の教育に関する大綱」を策定し、教育委員会との緊密な連携・役割分担のもと、教育行政の充実を図ってまいりました。
- この大綱の策定から今日までの間に、AIやIoTなどの技術革新や社会のグローバル化、多様化が進展し、更には大規模災害の発生や未曾有の感染症の拡大等、教育を取り巻く環境は大きく変化しました。
- 子供たちが時代を生き抜いていくためには、「生きる力」の基礎となる確かな学力、道徳・倫理性、健やかな体を育成していくことが重要です。  
一方で、どんな事態が生じた際にも、子供たちの学びを保障できる教育体制づくりやICTを活用した教育の推進、教員の働き方改革など、社会情勢の変化に適切に対応する課題についても、今後重点的に取り組む必要があると考えます。
- このような考えのもと、この大綱では、「自らを高めること」、「社会の担い手となること」を基本に、豊かな人間性と生きる力を育むことを基本理念として、その実現のために7つの基本的な取組の方向を定め、引き続き愛知の教育の充実を図ることとしております。
- これまで教育委員会と築いてきた取組の成果を踏まえ、新たな大綱のもと、「日本一元気で、すべての人が輝く愛知」の実現を目指し、未来の愛知の担い手となる人の育成にしっかりと取り組んでまいります。

2021年2月 日

愛知県知事 大村 秀章

## 大綱の対象期間

2021年度から2025年度までの5年間

## 基本理念、基本的な取組の方向

第四次愛知県教育振興基本計画（仮称）の「基本理念」及び「基本的な取組の方向」と共通